

保護者の皆様

札幌市立厚別東小学校
校長 堀 朋子

全国学力・学習状況調査の結果概要について

日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、6 学年児童を対象に 4 月に実施しました「全国学力・学習状況調査」について、札幌市教育委員会より札幌市全体の傾向が出されました。これを受けて、本校の調査結果の分析を進め、成果や課題の方向性を示しましたので、お知らせいたします。

今後も、調査結果をもとに学校として指導方法の改善を図ってまいります。

- 【調査の内容】
- （１）生活習慣や学習環境等に関する質問調査
- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

	本校の割合（％）	全国平均（％）
自分にはよいところがある。	100.0	85.6
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。	100.0	92.5
将来の夢や目標をもっている。	94.3	81.8
人の役に立つ人間になりたいと思う。	97.1	95.8
人が困っているときは、進んで助けている。	100.0	92.7
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	77.2	80.1

【結果を受けて】

自己有用感や自己肯定感が高く、充実した日常生活が、他者を思いやる豊かな心に結び付いていると捉えられる。一方で、地域社会への参画意識はやや低い。身近な地域とのつながりを実感できるような活動の充実を図ることで、主体的に地域と関わろうとする意欲を高めていく。

	本校の割合（％）	全国平均（％）
朝食を毎日食べている。	100.0	93.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	85.7	82.8
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	97.1	90.7
平日、学校以外で１時間以上勉強している。	54.3	49.9
平日、１日当たり３時間以上スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴をしている。	42.8	37.6

就寝や起床、朝食の摂取などの基本的な生活習慣は良好である。一方で、スマートフォン等の使用や動画視聴の長時間化がうかがえる。今後も家庭と連携しながら情報モラル教育の推進に努めていく。

	本校の割合（％）	全国平均（％）
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	91.4	77.6
友達との話し合い活動で、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしている。	91.4	85.7
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	91.4	77.9
友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	100.0	91.4

仲間との話し合い活動を通じた学びの深まりや、互いの考えを尊重した協働学習に有用性を感じている児童が多く見られる。本校が目指す「響きあい 一人一人のよさや可能性が伸びる学校づくり」に向けて、今後も「自分のために（自立）」、「誰かとともに（共生）」学ぶ子どもたちの成長を支えていく。

※上記の項目は、保護者の皆様と共有したいものを選んでお伝えしています。

(2) 教科に関する調査（国語、算数）

- ①後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容。実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等。
- ②実生活の様々な場面に活用する知識・技能。様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力。

【小学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
□「言葉の特徴や使い方に関する事項」 →全国平均を上回っている。 □「情報の扱い方に関する事項」 →全国平均を上回っている。 □「話すこと・聞くこと」 →全国平均を上回っている。 □「書くこと」 →全国平均とほぼ同程度である。 □「読むこと」 →全国平均を上回っている。	●筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	○伝えたいことの中心を明確にし、理由や事例を挙げて説得力を高めるための書く活動の充実を図る。また、文章全体の構成を推敲したり、仲間と検討し合ったりする活動を積極的に取り入れることで、論理的な表現力を高めていく。 ○漢字のもつ意味を理解し、学習した漢字や熟語を文や文章の中で正しく使えるように、言語活動の充実を図る。

【小学校算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
□「図形」 →全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 □「測定」 →全国平均を上回っている。 ■「数と計算」 →全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ■「変化と関係」 →全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ■「データの活用」 →全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●立方体の体積の計算による求め方について理解すること。 ●単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えること。 ●示された2つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できること。	○具体物を操作する活動を通して図形の構成要素に着目したり、面積の学習と比較したりしながら、図形の構造と式とを関連付けて考察できるようにする。 ○テープ図などを用い、分数の意味や仕組みについて理解が深まるように、数学的活動の充実を図る。 ○目的に応じてデータを集め、落ちや重なりがないように分類・整理することを通して、問題解決に最適な表やグラフを選んで表現したり分析したりする活動の充実を図る。